



## 「笑止千万…蘇生のはなし」

こんにちは。赴任し1年経過しましたが痛風発作はおきていません。今年度もよろしく願いいたします。

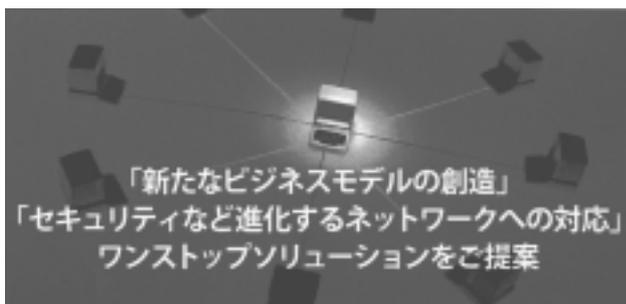
さて、外来をしていると非常に滑稽な方と出会います。心筋梗塞や脳梗塞、喘息、慢性閉塞性肺疾患など、喫煙が症状を悪くするのが明らかなのにタバコをやめられない方。皆様、自分を責めるのがお好きなのだと感心します。配偶者や子どもが感冒や喘息なのに喫煙される方もおられ、他人にも厳しい方なのかと...思わずにはられません。とは言っても医療従事者の喫煙者も多くいらっしゃいますし、喫煙に限らず、自分を含め人間は理屈よりも根拠のない習慣（快樂）に流される笑止千万（非常に滑稽）な存在だと思います。

前置きが長くなりましたが今回は滑稽では済まされない延命に関して述べます（再生医療の話は割愛）。生きとし生けるものはいずれ消滅しますが、医療は発達し、一度心停止・呼吸停止した人を医療により復活させることができます。これを蘇生といいます。蘇生は狭義の延命行為です（広義の延命に関しては次回）。蘇生行為が成功すれば復活します。復活の仕方はさまざまに心肺停止の時間が長いと脳に障害が残り、意志疎通は基本不可能です。

蘇生行為には具体的に気管挿管・心臓マッサージ・電気ショック・昇圧剤の使用があります。気管挿管は口や鼻から太さ1cm程度のチューブを挿入する手段です。チューブを人工呼吸器につなぎ機械で設定した回数・量で酸素を肺に送り込むのが人工呼吸管理です。どなたでも食事の際にご飯一粒が気管に入り、むせこんだことはあると思われれます。米粒が入っても苦しい気管の中に太さ1センチほどのチューブを押し込むのが気管挿管です。心臓マッサージは一般的なマッサージとは程遠く胸骨圧迫です。止まった心臓を動かそうと胸を両手で圧迫します。最中に肋骨が何本も折れることが多いです。電気ショックは致死的不整脈を取り除くための手段です。一度心臓をとめてリセットします。そのまま心停止も多々あります。昇圧剤の働きは馬への鞭のように心臓を叩き、ホースを懸命にしばるように全身の血管を締め付けます。

肝心なことは、誰に（もしくは自分に）・どの程度までの蘇生行為をするか（もしくはしないか）です。自分の愛する子ども・親友・女性...蘇生すると思います。自分自身...僕は苦しいのは勘弁です。自分の親...年齢や活動度にもよるとは思いますが、非常に悩ましいですね。認知機能低下がすすんだ高齢者...ご家族がご本人の意思を代弁しなければなりません。その際、大事な点をご本人のために何をしたいかではなく、ご本人がそれを望むかどうかです。

普段から自分の親にどのような死を迎えさせたいか、医療にどこまで望むかを考える必要があります。それは子どもが無事に生まれて欲しいと案ずる親の行為とほぼ等しいと思われれます。時折、考えることを放棄して、こちら側にすべて任せる方々がいらっしゃいますが、笑止千万（非常にご本人様もご家族様も気の毒）です。僕の心が苦しいときが多々あります。



FUJITSUパートナー

## 扶桑電通株式会社

■青森営業所 青森市長島二丁目13番1号  
TEL 017-775-2031(代) FAX. 017-774-4720

■八戸営業所 八戸市三日町2(青銀明治安田生命ビル)  
TEL 0178-44-1855 FAX. 0178-44-8494

《ホームページアドレス》  
<http://www.fusodentsu.co.jp>